外国文学·芸術·映画書 ご担当者様

ツバメ出版流通取扱
03-3721-1922

新刊のご案内
2026年10月6日刊行

アケルマン、最後の本

**母の病を知り、ブリュッセルに戻ったアケルマンが、
介護の日々のなかで綴った自伝的エッセイ。
家族写真や映画スチールを交えながら、母との関係、
人生と記憶、愛や喪失を見つめる。
極めて個人的な経験から普遍性へ広がる、
アケルマンの創作の核心に触れる一冊。**

解説 **坂本安美**（挟み込み冊子） ブックデザイン **日下潤一**+**赤波江春奈**
定価3,200円+税　仕様 **A5変形·並製·272頁**
ISBN: 978-4-907300-08-1 C0092

**2022年、BFI（英国映画協会）『Sight and Sound』
「史上最高の映画」第1位
シャンタル·アケルマン監督作
『ジャンヌ·ディエルマン ブリュッセル1080、
コメルス河岸23番地』**

**『母が笑う』刊行を記念した
「シャンタル·アケルマン映画祭2026」
東京日仏学院（神楽坂）エスパス·イマージュ
にて10月初旬開催。**

シャンタル·アケルマン
映画監督、映像作家、作家。1950年、ブリュッセル生まれ。
25歳で監督した『ジャンヌ・ディエルマン』(1975) で、
映画界に革命を起こす。ホロコーストを生き延びた母の存在を核に、
生涯、多彩な作品を作り続けた。近年の国際的な大規模回顧展を
機に、世界的な再評価が進んでいる。2015年没。

永田千奈 ながた·ちな
フランス文学を中心に、ノンフィクション、評論などを翻訳する。
訳書に、ドミニク·ボナ『印象派のミューズ』(白水社)、
シュペルヴィエル『海に住む少女』、モーパッサン『女の一生』、
ルソー『孤独な散歩者の夢想』(以上、光文社)、
クローディ·ウンジンガー『食卓にきた犬』(早川書房) など。

ツバメ出版流通を通じて、すべての取次ルートに対応しています。直取引はモ·クシュラ（大谷）まで、ご連絡ください。
モ·クシュラ Tel: 045-306-5819 Fax: 045-306-6106 MAIL: info@mochuisle-books.com

**ご注文はツバメ出版流通まで Fax: 03-3721-1922 Tel: 03-6715-6121
mail: info@tsubamebook.com**

貴店名（番線印）

ご担当者　　様　　冊

新刊
モ·クシュラ http://mochuisle-books.com/
返品条件付注文扱い　返品了解　ツバメ出版流通：川人
本体価格：3,200円+税　**A5変形·並製·272頁**

Ma mère rit Chantal Akerman
母が笑う
シャンタル·アケルマン
永田千奈訳